

令和7年2月中央市定例教育委員会 議事録

- (1) 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日、時刻
令和7年2月7日（金曜日） 午後1時00分から午後2時00分
- (2) 出席及び欠席委員の氏名
出席者 石田秀博教育長、志村祐二教育長職務代理者、
石原英一教育委員、河西忠衛教育委員、
薬袋美和教育委員
- (3) 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名
功刀亜紀子教育総務課長、長田正樹生涯教育課長、中村文彦教育指導監、
中澤真紀主幹
- (4) 出席した長及びその事務局部の職員の職氏名
なし
- (5) 教育長等の報告の要旨
 - ・ 2月の公務経過報告
 - ・ 令和7年3月定例教育委員会開催日程の変更について
 - ・ 中央市総合教育会議の開催について
 - ・ 令和7年度山梨県市町村教育委員会連合会定期総会・春季研修会の開催について
 - ・ 今後の予定について
 - ・ その他（教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の行事日程の確認）
- (6) 会議に付した議案
 - ①中央市教育振興基本計画の中間見直しについて
 - ②中央市 ICT 推進計画について
 - ③就学援助費 新入学児童生徒学用品費入学前支給について
 - ④その他
- (7) 議題となった動議を提出した者の氏名
なし
- (8) 議事の概要
別紙のとおり

(9) 決議事項

①中央市教育振興基本計画の中間見直しについて

→ 原案のとおり承認される。

②中央市 ICT 推進計画について

→ 原案のとおり承認される。

③就学援助費 新入学児童生徒学用品費入学前支給について

→ 原案のとおり承認される。

(10) その他教育長が必要と認めた事項

なし

○ 議事録

教育長 会議に入る前に、本日の会議の書記と説明員について、入室の承認を得たいがどうか。

委員 異議なし。

1. 開会、あいさつ

教育長 これから2月の定例教育委員会を開会する。

2. 前回の議事録の承認

事務局 委員各位の手元に届いている1月定例教育委員会の会議録について、内容等に何か質問や意見等はあるか。

委員 異議なし。

3. 報告事項

教育長 (1) 教育長からの諸報告

- ・ 1月の公務経過と2月の公務予定
- ・ 令和7年3月定例教育委員会開催日程の変更について、3月7日を3月14日へ変更をお願いしたい。
- ・ 2月14日に開催される中央市総合教育会議に出席をお願いしたい。
- ・ 令和7年度山梨県市町村教育委員会連合会定期総会・春季研修会の開催について、2月21日県立図書館で行われるので出席をお願いしたい。

(2) その他

教育総務課長より令和7年2月及び令和7年3月の市の行事、教育総務関係・学校教育関係の予定について説明。

生涯教育課長より同月の予定を説明。

質問等はあるか。

委員 特になし

4. 協議事項

教育長 協議順を変更し、先に(2)中央市ICT推進計画についてから協議していく。

(2) 中央市ICT推進計画について

事務局に説明を求める。

事務局 (中央市教育ICT推進計画(概要版)により説明)

教育長 何か質問はあるか。

委員 基本方針の①ICT環境整備計画に「定期的なGIGA推進会議」とあるが、GIGA推進会議の組織立てはどのようになっているか。

事務局 八校会の学校長の代表、教頭の代表、各学校のGIGA推進員の代表1名、教育総務課の担当、教育指導監、ICT支援員ですが、今後、中央市ICT推進アドバイザーの三井

先生に入っただくこともある。

教育長 他に質問はあるか。

委員 基本的なことを聞くが、この ICT 推進計画は誰が作成したのか。

事務局 教育総務課の職員が作成した。

委員 ICT 推進計画が 4 年間作成していなかったのは何故か。また、先ほど 3 層分離状態で分かれているから使いにくい、今度はフルクラウドネットワークにするとの説明があったが、なぜ 3 層にしていたのか。

事務局 校務支援システムを県が導入する前に本市では導入しており、そのセキュリティーを高めるために 3 層分離状態としていた。

委員 この計画では解決しておかなければならないことが問題点として挙げられ、事前の話し合いが十分にされているのか疑問に感じた。もう 1 点は、令和 7 年度から 2 ndGIGA になり機種が変わるが、もし容量が変わったとしたら今は良くて使えなくなるが、そういうことを見越して次のステップに入っているのか。

事務局 ICT 推進計画を作成するに当たり、教育総務課の担当が中心となり、業務委託している ICT 支援員や学校の先生方と連絡を取り合ったり、GIGA 推進会議で課題を見つけ、どのように実現していくかを話し合い、反省も踏まえて検討した中で作成した。

委員 十分検討されているということで安心したが、本来もっとステップアップしていてもいいのではないか。

教育長 今まで取り組んでこなかったわけではなく、時代がかなり進んできてセキュリティー関係も進んできて、やっとこういうことができる環境になってきた。

事務局 1 人 1 台端末は共同調達ということで、スペックを上げたものを県で取りまとめて調達する。校務 DX に繋がる校務支援システムに関しても全県統一され、使える機能も県下で同じとなる。

委員 こういう事は凄いスピードで変わるので、次のステップを考える会議や方向性を持って進めて欲しい。これは市の特性を左右するものだと思う。子どもたちにも大きく影響する。

教育長 他にあるか。

委員 「中央市教育 ICT 推進計画」の 10 頁、ICT 利活用状況では、タブレットの活用程度は山梨県や全国と比べても遜色なく使っているが、下の「自分で調べる場面」や、11 頁の「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」、「自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」では、山梨県や全国の平均を下回っている。本市はパソコンを使っているようだが、調べ学習に時間を多く使っている。文科省がいう個別最適な学び、協働的な学びは弱いのではないか。ここについてはかなり力を入れる必要があると思うが、考えがあれば教えていただきたい。また、2 つ目の質問は、端末は全県同じ機種になるのか。

事務局 中央市は県内自治体の大多数である Chromebook の枠に入っている。

委員 3 つ目は、ネットワーク環境整備に関係するが、市の図書館や学校図書館へ電子書籍を充足していくという方向性はあるのか。この計画書ではそのことに触れていないが。

教育長 電子図書については、生涯学習館を中心に取組を始めたところである。図書購入予算

はここ 10 年削られることなく維持しているので、どの段階でどの程度電子書籍に切替えていくのか、今後調査をして段階的に進めていく。来年度は研究会等が動き出し、令和 8 年くらいから本格的に動いていくと思う。

委員 方向性が検討されていればよい。

事務局 先ほどの 10 頁から 12 頁の ICT 利活用状況は、今年度当初に小学 6 年生と中学 3 年生に行った調査結果です。今年度モデル事業をする中で調べ学習だけでなく、授業で習得した内容を考えて打ち込む等の課題改善に向けて動いており、学校訪問したころより、生徒や先生の動きも変わってきているので、機会があれば改善された内容を見ていただきたい。

教育長 今まで課題となっていて足りなかった部分が今年度になってから飛躍的に進んでいる。山梨県の GIGA スクールアドバイザーの三井先生を本市のアドバイザーに迎え、モデル校を作り、先生方に ICT 教育を教えている。先生方はポテンシャルが高いのでそれを引き出す力が必要だったがそれが出来ている。

機種については、県の共同調達は殆どが Chromebook。Windows を使っているのは都留市と大月市。韮崎市は iPad である。

他にあるか。

委員 13 頁の【教職員の資質能力】だが、8 割の方は活用するスキルの基を持っていると思うが、個々の能力に差があると授業改善や学力向上に関わってくるので、どのような形で現場におろしていくのか。夏休みに研修を実施すると思うが、実際の現場で個々の能力をどうやって高めていったら授業改善や学力向上に結びついていくのか気になった。

事務局 スキルの資質能力だが、使いこなしている方と、使いこなせていない方がいるという状況がある。今回、先生方にスキルチャートにチェックしてもらい、それを ICT 支援員が確認して適した研修を実施することで少しずつでもスキルアップしていきレベルを上げていく段階に入っている。

委員 三井先生の ICT を使った授業改善の機会があれば各学校に周知し、スキルアップが必要な方に参加してもらおうよう図っていただきたい。

事務局 今年度のモデル校の授業の時には 8 校に案内を出して参加いただき、三井先生からの指導も一緒に聞くことができた。参加できなかった先生には ICT 支援員が授業と、三井先生からの指導を記録して、中央市のポータルサイトから見られるように設定をした。ポータルサイトへのアクセス数やモデル校の授業への参加者が少ない部分については課題として取り組んでいく。

委員 是非、充実させていただきたい。

教育長 他にあるか。

委員 ロケーションフリーになるとあるが、自宅に帰って成績処理ができるのか。

事務局 成績は持ち出しが不可なので、成績については考えていない。

委員 それ以外はできるのか。

事務局 成績処理以外のことを考えている。

(3) 就学援助費 新入学児童生徒学用品費入学前支給について

教育長 事務局に説明を求める。

(「令和6年度 就学援助費 新入学児童生徒学用品費入学前支給について」、「就学援助(入学準備費)の入学前支給のおしらせ」により説明)
何か質問はあるか。

委員 なし。

(4) その他

教育長 本日の学校給食運営委員会で給食飲用牛乳の容器を瓶から紙パックに変更することを決定としたが、教育委員会でも決定ということによいか。

委員 承認。

(1) 中央市教育振興基本計画の中間見直しについて

教育長 事務局に説明を求める。

事務局 (「第2次中央市教育振興基本計画(令和2年度～令和11年度)素案」、「中間見直しに伴う施策の振り返り及び令和11年度の目標設定について」により説明)

委員 専門用語等へ注釈の追加が必要と思うが。

事務局 注釈をどこまで付けるか、付けだすと注釈だらけになってしまう。教育専門の振興計画なので全てには付けられない。

委員 誰に対して示すのか考えた方がいいのでは。普段触れない言葉には注釈を付けた方がいい。

教育長 この件は、策定委員会でも議論が白熱した。結論としては、「きずなの日」や「まごころ」など、市独自で運用しているものには最低限入れてもいいのではないか。公表する中で市民からの意見などで検討していきたい。

委員 27頁の「時間外勤務月45時間以内の達成率(年実績)」で、小学校の実績値でH30は51%だったのが、R5には30%になった理由は。

事務局 働き方改革が進まない。調査やアンケート、保護者対応など業務が増えている。

委員 プログラミング教育は進んでいるのか。どのような指導をしているのか。

事務局 中学校の技術科と小学校6年生の理科などで行っている。

委員 18頁からの振り返りの「主な取組実績」の内容が「基本方針」の項目に当てはまるのか妥当性を感じた。例えば、「児童生徒が地域の避難訓練に参加できるよう計画し、学校・自治会・市関係課との連携や協働体制の確認。」は違う項目ではないか。「豊かな心の育成」にフリースクールの連携や不登校児童への対応、命の大切さや自殺防止のための講習会等の開催についてや、「健やかな体の育成」には食育の充実、安全、推進について入っていない。

事務局 「児童生徒が地域の避難訓練に参加できるよう計画し、学校・自治会・市関係課との連携や協働体制の確認。」は、35頁から37頁の「(1)豊かな学力の育成」、「安全・防災教育の推進」の中の「地域の避難訓練に参加する」の振り返りとして書かれているため、18頁の「豊かな学力の育成」の取組実績としている。

委員 項目を精査するか、表現を変える等しておいた方が説明を要さない。これを公表するということは額面どおりに読み込むということなので、具体的な課題の振り返りと、基本目標との整合性を保つ方がいい。

事務局 説明をしたので理解いただけたが、パブリックコメントでは説明がないので、その辺りを考えたい。

委員 51 頁から 55 頁の重点施策のコミュニティスクールについて、55 頁の今後の取組に委員に研修を実施するという項目はどうか。コミュニティスクールについて理解してもらうことが重要ではないか。

委員 コミュニティスクールの委員の選出は学校に任せているのか。

事務局 人選は学校に任せているが、規則で委員の要件区分を定めてある。

委員 学校に任せると依頼しやすいとか、知り合いとかで先生が多くなる。教育委員会でリストアップするというのは難しいか。力を入れて改革を望むのなら、人選も重要なのではないか。

教育長 委嘱するのは教育委員会だが、あくまでも学校の自主性や主体性を重んじなくてはならない。教育委員会でも助言をしていかなければならない。

委員 途中で委員の追加はできるのか。

事務局 今の規則では追加はできない。

来年度はコミュニティスクールアドバイザー謝礼として各校 2 回ずつ派遣できるよう予算化を予定している。

委員 地域の人をどう引き込むか、人選を学校に任せるのは人脈がないので難しいと思う。教育委員会で人を見つける形が定着すれば成果が出てくると思う。

教育長 その他何かあるか。

事務局 第 86 回国民スポーツ大会（令和 14 年山梨県で開催予定）について説明。

教育長 その他何かあるか。

委員 特になし。

4. 閉会

以上で、2 月の定例教育委員会を閉会する。